

[1-5] ペンタクロロビフェニル類・底質(単位: pg/g-dry)

調査年度: 2016

検出頻度(地点ベース): 62/62(欠測等: 0)

検出頻度(検体ベース): 62/62(欠測等: 0)

検出下限値: 1.1

定量下限値: 3.3

集計値	
幾何平均値	1,100
中央値	1,100
最大値	160,000
最小値	7.4

地方公共団体	地点番号	調査地点	測定値
北海道	1	天塩川恩根内大橋(美深町)	17
	2	石狩川河口石狩河口橋(石狩市)	160
	3	苫小牧港	1,100
岩手県	4	豊沢川(花巻市)	67
宮城県	5	仙台湾(松島湾)	1,100
仙台市	6	広瀬川広瀬大橋(仙台市)	49
秋田県	7	八郎湖	990
山形県	8	最上川河口(酒田市)	400
福島県	9	小名浜港	4,400
茨城県	10	利根川河口かもめ大橋(神栖市)	190
栃木県	11	田川給分地区頭首工(宇都宮市)	51
千葉県	12	市原・姉崎海岸	4,600
千葉市	13	花見川河口(千葉市)	150
東京都	14	荒川河口(江東区)	12,000
	15	隅田川河口(港区)	74,000
横浜市	16	横浜港	24,000
川崎市	17	多摩川河口(川崎市)	19,000
	18	川崎港京浜運河	50,000
新潟県	19	信濃川下流(新潟市)	130
富山県	20	神通川河口菰浦橋(富山市)	190
石川県	21	犀川河口(金沢市)	1,000
福井県	22	笙の川三島橋(敦賀市)	67
山梨県	23	荒川千秋橋(甲府市)	39
長野県	24	諏訪湖湖心	2,800
静岡県	25	清水港	1,900
	26	天竜川(磐田市)	39
愛知県	27	衣浦港	560
	28	名古屋港	5,300
三重県	29	四日市港	7,200
	30	鳥羽港	2,600
滋賀県	31	琵琶湖南比良沖中央	3,100
	32	琵琶湖唐崎沖中央	16,000
			※※3,700
京都府	33	宮津港	300
京都市	34	桂川宮前橋(京都市)	960
大阪府	35	大和川河口(堺市)	5,900
大阪市	36	大川毛馬橋(大阪市)	12,000
	37	淀川河口(大阪市)	24,000
	38	大阪港	160,000
	39	大阪港外	15,000
兵庫県	40	姫路沖	2,500
神戸市	41	神戸港中央	35,000
奈良県	42	大和川(王寺町)	210
和歌山県	43	紀の川河口紀の川大橋(和歌山市)	1,700
岡山県	44	水島沖	550
広島県	45	呉港	22,000
	46	広島湾	4,600
山口県	47	徳山湾	610
	48	宇部沖	730
	49	萩沖	410
徳島県	50	吉野川河口(徳島市)	200
香川県	51	高松港	7,400
愛媛県	52	新居浜港	71
高知県	53	四万十川河口(四万十市)	170
北九州市	54	洞海湾	73,000
福岡市	55	博多湾	1,800
佐賀県	56	伊万里湾	800
長崎県	57	大村湾	1,200
大分県	58	大分川河口(大分市)	48
宮崎県	59	大淀川河口(宮崎市)	14
鹿児島県	60	天降川(霧島市)	7.4
	61	五反田川五反田橋(いちき串木野市)	30
沖縄県	62	那覇港	6,600

(注1) 「検出頻度(地点ベース)」とは検出地点数/調査地点数(欠測等は除く)を、
「検出頻度(検体ベース)」とは検出検体数/調査検体数(欠測等は除く)をそれぞれ意味する。

(注2) 検出下限値以上を検出とした。

(注3) ※※3点で採取した試料を個別に分析し、過年度と比べて高値であった1点の試料を除く2点の平均値である。